

令和 3 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

## 西尾市地域公共交通活性化協議会 (西尾市)

平成 2 5 年 4 月 1 7 日設置

平成 2 6 年 3 月 3 1 日 西尾市地域公共交通計画策定  
(計画期間：平成 2 6 年 4 月～平成 3 1 年 3 月)

平成 2 8 年 6 月 2 4 日 西尾市地域公共交通計画-改訂版-策定  
(計画期間：平成 2 8 年 6 月～平成 3 3 年 3 月)  
※～令和 4 年 3 月に期間延長

令和 4 年 1 月〇〇日 令和 3 年度評価結果送付

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
各バス路線の乗り案内や乗継情報、鉄道ダイヤ等を含めた公共交通マップ・総合時刻表の作成を評価	認知度向上のため市内各公共施設、バス車内、観光案内所等への設置による周知	・市内各公共交通機関のダイヤ改正情報を随時反映 ・より利用者がわかりやすい公共交通マップ・総合時刻表の作成
地区公共交通協議会を設立し、地域住民・行政・事業者が協働して施策を行ったことを評価	各地区協議会の意見を反映したバスルート等を作成し、運行を実施	利用状況について評価・検証し、利用促進策等を地区協議会で検討
デマンド型乗合タクシー「いこまいカー」の目的地拡大及び周知活動の評価	令和2年度にデマンド型からタクシー補助に切り替え、さらに目的地を拡大	出前講座などの周知活動を強化
いっちゃんバスの利用者増加に向けて、自治体・地元住民が協力して取り組むことを期待	地区協議会で検討した結果、ルート・ダイヤを改正し運行	利用状況について評価・検証し、利用促進策等を地区協議会で検討
次期計画更新に向け、各公共交通の現状とあり方を検証することを期待	令和3年6月～7月に公共交通アンケートを実施	アンケート結果を踏まえた計画の策定

## 1) 地域公共交通体系の将来像

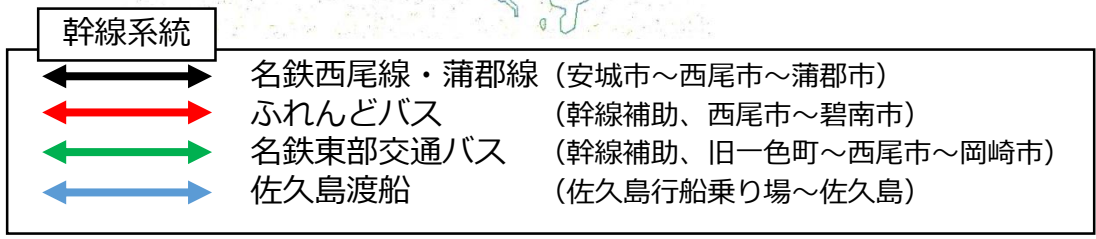
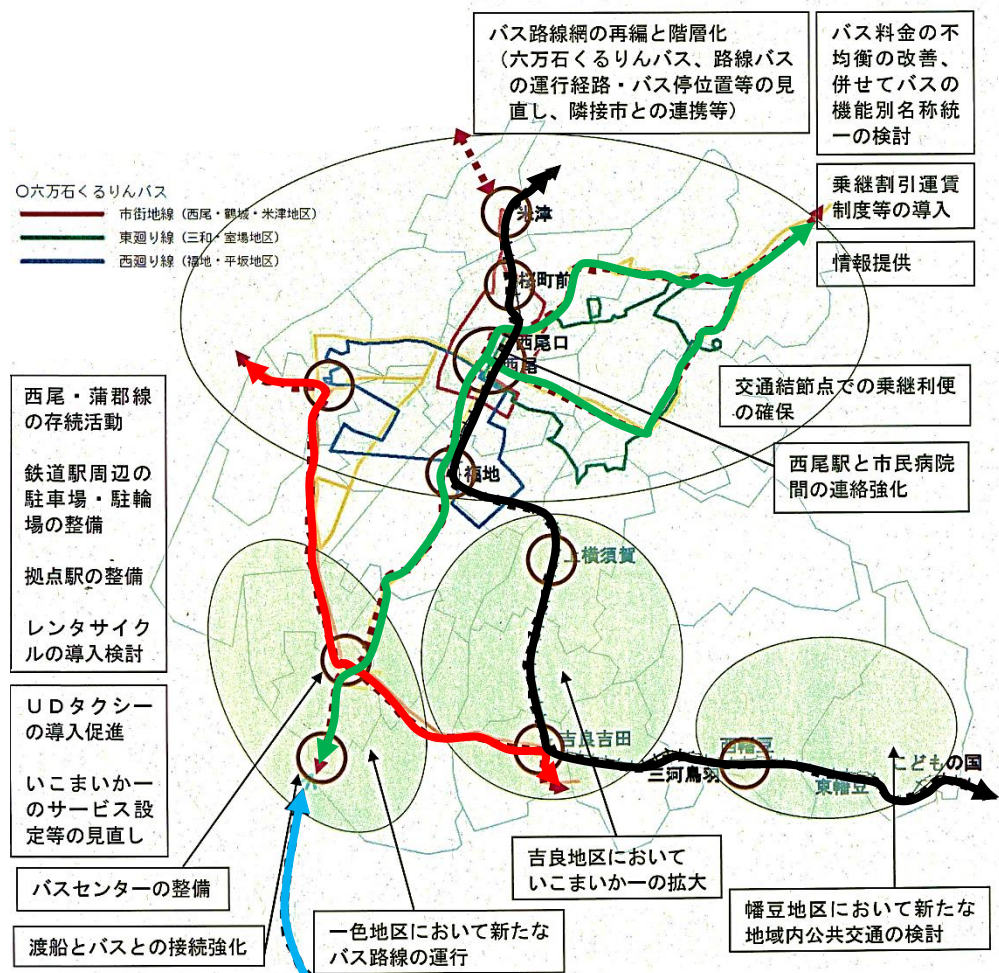
◎日常生活に必要な公共交通が効率的に確保され、便利で安心して暮らせるまち、地域の交流と活性化を実現できるまち



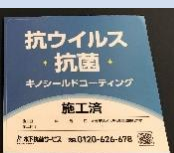

## 2) 西尾市の地域公共交通の基本方針

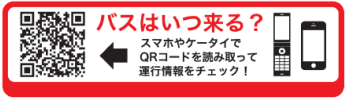


- ①市民の暮らしに必要な最低限の移動ができるようにします
- ②市内に人の流れをつくり出します
- ③みんなで公共交通を守り育てる体制をつくります
- ④計画の進捗状況を評価し、定期的に見直します

## 3) 計画期間

平成28年度～令和3年度



実施事業	概要	実績等												
バス交通の再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な移動手段を確保し交通弱者の外出機会を保障するため六万石くるりんバスを3路線から8路線に拡大</li> <li>路線バスが廃止になった地域をカバーし通勤通学の足を確保</li> <li>市内バス運賃を200円均一とするわかりやすい運賃体系</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月再編</li> <li>六万石くるりんバス利用者数                     <table border="1" data-bbox="1101 257 1506 357"> <tr> <td>R1年度</td> <td>115,640人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>161,684人</td> </tr> </table> </li> <li>拡大路線では買い物利用が多く、路線バス代替路線では通勤通学利用が多い。</li> </ul> 	R1年度	115,640人	R2年度	161,684人								
R1年度	115,640人													
R2年度	161,684人													
いこまいかーのサービス設定等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスのない吉良、幡豆地区において、自宅から商業施設・医療施設などへ直接輸送</li> <li>コミュニティバスのある西尾、一色地区では、小学校区内の拠点的なバス停まで輸送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月実施</li> <li>デマンド型→タクシー補助方式へ転換</li> <li>予約利便性向上や運行事業者の拡大を実現 (事業者数1社→4社)</li> <li>吉良、幡豆地区において地区公共交通協議会との協働により目的地拡大を実施</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1062 871 1893 1013"> <thead> <tr> <th>利用人数</th> <th>吉良</th> <th>幡豆</th> <th>西尾・一色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>1,948</td> <td>24</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>2,196</td> <td>599</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>	利用人数	吉良	幡豆	西尾・一色	R1年度	1,948	24	282	R2年度	2,196	599	330
利用人数	吉良	幡豆	西尾・一色											
R1年度	1,948	24	282											
R2年度	2,196	599	330											
新型コロナウイルス対策	<p>コミュニティバス車内・渡船へ抗菌コーティングを実施</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年 9月 1回目実施 (コミバス、渡船)</li> <li>R3年11月 2回目実施 (コミバス)</li> <li>乗降口に「抗菌コーティング実施済み」のステッカーを貼付し乗客へPR</li> </ul>												
出前講座、乗り方講座の実施	<p>民生児童委員や高齢者などを対象に、バス・いこまいかーの利用講座を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度 3回 68人</li> <li>講座の後日、参加者がバスを利用したおでかけを実施</li> </ul> 												

実施事業	概要	実績等
インターネット上における運行情報の提供	グーグルマップをはじめとする乗換え検索サービスでバス運行情報を提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GTFSを整備し、市内バス交通はすべてグーグルマップで検索可能</li> <li>・コンテンツプロパイダ (NAVITIME、ジオルダン、駅すぱあと) へ情報提供</li> </ul>
バス位置情報・混雑情報の提供	遅延情報、混雑情報を提供するバスロケーションシステムを導入  <p>バスはいつ来る？            スマホやケータイでQRコードを読み取って運行情報をチェック！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月から運用</li> <li>・バス待ち時の不安を低減</li> <li>・コロナウイルス感染防止策への寄与</li> <li>・国庫補助活用</li> </ul>
キャッシュレス決済の導入	コミュニティバスへキャッシュレス決済を導入し、スムーズな乗降を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年10月からPayPayを導入</li> <li>・R3年 8月からLINEPay対応</li> </ul> <p>電子決済利用率            R2年10月～R3年3月 4.6%</p> <p>非接触のためコロナ感染防止による安心利用</p> 
名鉄西尾・蒲郡線の観光利用促進	SNSを活用したPR活動 観光客向けガイドマップの作製 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3月10月Instagram、Facebookを開設</li> <li>Instagramフォロワー 2,070人</li> <li>Facebookフォロワー 130人</li> <li>・4種類の沿線ガイドマップを作製し、駅、駐輪場、協賛店舗に設置</li> <li>・西尾・蒲郡線PR動画を3本制作</li> </ul>

計画の事業効果（利用者数等）に対する評価・検証

《目標・指針》

- ・市民の暮らしに必要な最低限の移動の確保
- ・市内に人の流れを作り出す

- ➡移動に不便を感じている市民の割合の減少－公共交通を移動の手段に
- ➡公共交通機関の利用者数の維持・増加－サービスを確保することで、市民の日常生活の利便性向上・交流促進

《実績値》

①移動に不便を感じている市民の割合（R3.8西尾市総合計画に関する住民アンケート結果）

策定時(H28)	目標値(R2)	実績値(対目標値)	結果(達成率)
39.9%	35%	52.1%(+17.1%)	未達成(73.7%)

②利用者数

	目標値の理由	目標値(R2)	実績値(対目標値)	結果(達成率)
名鉄西尾・蒲郡線	H27から毎年2%増加	3,673千人	2,595千人（▲1,078千人）	未達成（70.6%）
六万石くるりんバス	H26から毎年10%増加	198千人	162千人（▲36千人）	未達成（81.8%）
いっちゃんバス	1便5人以上	17,950人	2,724人（▲15,226人）	未達成（6.6%） ※運行当初は1便1台車両 現在は1便1-2車両
いこまいカー	H27から毎年10%増加	1,680人	3,125人（+1,445人）	達成（186.0%）
名鉄東部交通バス (幹線,R2.4一部廃線)	H27実績を現状維持	443千人	375千人（▲68千人）	未達成（84.6%） ※R1は472千人で達成
ふれんどバス(幹線)	H27実績を現状維持	270千人	242千人（▲28千人）	未達成（89.6%） ※R1は304千人で達成
佐久島渡船(幹線)	H26実績から毎年5%増加	200千人	186千人（▲14千人）	未達成（93.0%） ※R1は304千人で達成

《考察・今後の方針》

- ・①については増加傾向であるが、本計画の市民及びバス利用者アンケート調査ではバス再編等により便利になったと評価する声は評価しない声よりも多い。本指標では道路等を含めた不便なども影響することから指標を見直す。
- ・各公共交通の利用者はコロナにより減少したが、通勤通学よりもおでかけ利用が減少したと思われる。
- ・いこまいカーの目標達成の要因は目的地拡大のほか、デマンド式からの転換による感染リスク減もあると思われる。
- ・コミュニティバスについては、路線ごとに最低維持基準を設け、地区公共交通協議会と連携して活性化を図る。

<b>課題①</b>	<b>再編した公共交通の周知</b> コロナ禍と公共交通再編の時期が重なった結果、外出控えなどからコミュニティバスの新規路線やいこまいかーの目的地拡大などについて認知度が低い。 (R3.6市民アンケートでは路線新設等の認知度が26.8%)
<b>対応方針①</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報誌や地域の回覧板を活用した周知活動の展開</li> <li>・主な利用者である高齢者を中心に乗り方講座を開催</li> <li>・コロナ禍における安心安全な公共交通利用をPR</li> </ul>
<b>課題②</b>	<b>持続可能なコミュニティバス運行のための利用者確保への取り組み</b> 令和3年6月の市民アンケートでは、現状のサービスを維持あるいは充実を求める意見が68.4%と多く、利用者数を確保し維持していく必要がある。
<b>対応方針②</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公共交通協議会と連携した利用促進の取り組みを展開</li> <li>・最低維持基準を設定し、原則2年連続でクリアできない場合や沿線地域で利用促進の取り組みが行われない場合は、減便やデマンド化等の縮小を検討する。ただし、コロナ流行による外出自粛の影響については配慮する。</li> </ul>
<b>課題③</b>	<b>来街者が利用しやすい公共交通サービスと情報提供</b> 今後の市内人口は減少の予測であり、生活交通のみでの公共交通利用者の増加を見込むことは難しいため、観光客などの来街者利用を増やす必要がある。
<b>対応方針③</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内を周遊する観光ルート of 構築</li> <li>・観光客がわかりやすい公共交通ルートの検索やキャッシュレス決済などのサービス向上</li> <li>・GTFSデータの随時更新による正確な運行情報の提供</li> <li>・スマートフォンを使った目的地検索と公共交通チケットの入手など利便性の高い仕組みの構築</li> </ul>